

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 計画調整課
 担当名: 総括・SDG s 推進担当
 内線: 2133 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
p2	埼玉版SDG s 推進費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	埼玉版SDGs推進費		
事業期間	令和2年度～令和12年度	根拠法令	なし				針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	17
							分野施策	1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsターゲット	17-17
1 事業概要 あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため、多様なステークホルダーとの協働を通じてSDG sを推進する。 ア 埼玉県SDG s官民連携プラットフォームの運営 △255千円 イ 埼玉県SDG sパートナー登録制度の推進 △285千円				5 事業説明 (1) 事業内容 埼玉版SDG sを推進するため、全てのステークホルダーが自主的にSDG sに取り組める環境を全県的に整え、活動を支援していく。 ア 埼玉県SDG s官民連携プラットフォームの運営 産学官金等の企業・団体等の連携構築の場の運営 イ 埼玉県SDG sパートナー登録制度の推進 自らSDG sに取り組む企業・団体等の登録制度の実施 ウ 埼玉版SDG s推進アプリの運営 ワンチーム埼玉でSDG sを推進するためのスマートフォンアプリの運営 エ 広報による普及啓発 イベント等でのパネル等を活用した普及啓発 (2) 事業計画 ・プラットフォームの会員企業・団体数の拡大を図る。 ・プラットフォームの分科会の設置や開催等を通じ、SDG sの実践に結びつける。 ・埼玉県SDG sパートナー登録者数の拡大を図る。 ・毎日SDG sチェックや、SDG sクイズ、イベント参加等に活用できるアプリを展開する。 ・普及啓発については、より県民に身近な市町村とも協力して実施する。 ・行政、有識者、各種団体等の関係者から、埼玉版SDG sの推進に向けた意見聴取を実施する。 (3) 事業効果 ・県民及び県内企業・団体等のSDG sの認知度の向上 ・SDG sに取り組んでいる県民及び県内企業・団体等の増加 ・県において埼玉版SDG sを推進する上での指針の策定 【活動指標(アウトプット)】 シンポジウムの開催(年3回)、SDG sパートナー登録企業・団体の募集(年3回) 埼玉県SDG sの推進アプリの県民及び教育機関の利用、SDG s普及イベントの開催(年7回) 【成果指標(アウトカム)】プラットフォーム会員数 年300者増、SDG sパートナー登録者数 年300者増 (4) 補正予算の概要 執行節減等による減						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5名=33,250千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		寄 附 金								
決定額	△540							△540	11,347	
現計額	11,887	1,900						9,987		

事業内訳書

事業名	埼玉版SDGs推進費		
単位事業名	埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの運営	予算額	△ 255千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△255	—	
合計	△255	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△26	—	執行節減による減
需用費	△2	—	食糧費の減
役務費	△47	—	執行節減による減
負担金、補助及び交付金	△180	—	見込みを下回ったことによる負担金の減
合計	△255	—	

単位事業名	埼玉県SDGsパートナー登録制度の推進	予算額	△ 285千円
-------	---------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△285	—	
合計	△285	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△285	—	執行節減による減
合計	△285	—	